

平成25年度学校経営の改革方針

三重県立四日市商業高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

校訓「至誠」の精神をもとに、商業教育を通じて、知・徳・体・心の健全な成長を促し、礼儀を重んじ、誠実を旨とする専門性の高い職業人の育成に努めます。

II 現状と課題

- 1 県下有数の伝統校でありながら近年は入学希望者の数に恵まれず、定員を割り込むことすらありました。商業教育に対する時代の変化や要請に着実にこたえるための見直しも行わなくてはなりません。
また「人づくりの泗商」と呼ばれるほど多面的に生徒を支え成長させる本校の教育力の素晴らしさについての情報発信を地域や中学生に行う必要があります。そのうえでさらに魅力のある学校にする不断の努力を行い人気校としての安定した地位をめざします。
- 2 極めて厳しい就職難の中でも、本校卒業生の各方面での活躍と本校生の即戦力としての高い評価により、就職希望者の決定率は100%を維持、特に就職者の約6割が事務職に就いているなど、輝かしい実績を誇っています。この強みを維持・発展させていく必要があります。進学面においても『若き「匠」育成支援事業』の指定を受け、より専門性の高い人材育成のため商業高校ならではの進学指導のあり方を充実させなければなりません。
- 3 本校は資格取得に魅力を感じて入学してくる生徒が多くいます。本校の資格試験合格者はこれまで順調に伸びてきていますが、生徒の要望に応え、きめ細かい指導によって難度の高い上級資格を獲得させるための組織的・計画的な取組を発展させることが必要です。
- 4 スポーツ活動を通じて健康で目的意識のある生徒づくりを行ってきた結果、数多くの競技で県下有数の力を発揮する部活動の成果を出しています。そこで、さらに高みを目指す生徒を育てることのできる力を多くの教員が持つことが課題です。しかし同時に休日などにおけるクラブ指導による職員の過重労働解消も大きな課題です。

III 中長期的な重点目標

- 1 中学生や地域へ、より反応のある情報発信を行い本校の良さを伝えることで入学希望者の増加を図り後期選抜での競争率を着実に高めます。
- 2 ビジネスの高度化に対応できる人材育成のため進学指導を強化します。そのため教員の指導力を高め、四年制大学を希望するものをより増加させるとともに国公立大学や難関私大合格を常に可能とするようにします。また、専門性を生かした進学を促進するため、大学との連携を強化します。
- 3 各種検定・資格試験への取組を強化し、商業教育の更なる充実を図ります。また商業系クラブの活性化を図るとともに、様々な活動で地域づくりに貢献できる取組を促進します。
- 4 部活動などの教育環境の整備を進め高いレベルでの部活動による生徒の育成を図るため複数のクラブで常時全国有数の成績を出せるように努めます。
- 5 職員にとって、より健康的で働きやすい職場環境づくりに努めます。

IV 本年度の行動計画（本年度各部の重点的な取り組み）

1 中学生や地域へ、より反応のある情報発信を行い本校の良さを伝えることで入学希望者の増加を図り後期選抜での競争率を着実に高めます。

（総務部）

（1）地域社会における「泗商」の認知度を増加させ、「泗商」のブランド化を図ります。

【取組状況の指標】

- ① 生徒の地域社会に対する「露出度」を増やすことを目的とし、3年生「課題研究」生徒の企画・運営による説明会を夏季（高校生活入門講座）、秋季（学校説明会）の2回実施し、受検生、中学校、保護者などの「生の声」を聞く機会を増やします。

【達成状況の指標】

- ① アンケートを実施し、満足度の高い回答が75%以上を達成し、志望状況や受検者数（7・12月志望状況、前後期受検者数）を増やします

（2）生徒の学習に対する取り組み状況を把握するための機会を設け、教育の充実に努めます。

【取組状況の指標】

- ① 生徒の学習への取り組み状況について、担任と情報を共有し、課題を検討します。

【達成目標の指標】

- ① 生徒や保護者から出された意見、および授業満足度調査の結果を踏まえ、授業に関する問題点や改善すべき点を検討します。

（生徒指導部）

（1）より丁寧な生徒指導により、中学生・保護者に「安心できる学校」であることをアピールします。

【取組状況の指標】

- ① 交通指導や登校指導を丁寧に行い、生徒の安全意識と交通マナーと社会的なマナー意識を高めます。
- ② 防犯（変質者被害等）やネット被害への意識を高めるために、講話等を通して生徒に伝えます。
- ③ 日々の指導と頭髪服装検査等の継続的实施により、生徒に身だしなみの大切さを身に付けさせます。
- ④ 挨拶の励行により活気ある学校環境を維持し、挨拶の習慣を身に付けさせます。

【達成状況の指標】

- ① (1)接触事故などの交通事故数（昨年度の値と相互比較。零を目標としながら、昨年度を下回ることを目指します。）(2)苦情電話数（同上）
- ② 質者被害等・ネット被害などの被害数（同上）
- ③ 1ヶ月ごとのデータを蓄積し、継続した指導を行えているか。
- ④ 教職員アンケートを実施し、満足度の高い回答が75%以上。

（2）クラス連絡の実施・学級内活動・清掃活動を生徒が自主的にできるように推進します。

【取組状況の指標】

- ① 風紀・週番活動を中心に、生徒の自主的な活動を促すと同時に、生徒の責任感を高めます。
- ② 風紀・週番集会を大きな元気のよい挨拶で始めることにより、挨拶の大切さと習慣を身につけます。

【達成状況の指標】

- ① 集会出席簿・週番日誌の確認と押印・風紀委員によるチェック等による活動状況が改善されていること。

- ② 風紀・週番集会での挨拶が、指導教員による評価が良くなったか。
- (3) 学校の清掃活動強化により、より学校のイメージアップを図ります。(整理・整頓・清潔の実践)

【取組状況の指標】

- ① 美化委員活動を活発化し、生徒がより自主的に美化活動に参加できるようにします。

【達成状況の指標】

- ① 風紀活動の清掃点検チェック等による活動状況。

- (4) 継続的に遅刻・早退指導を行い、基本的な生活習慣を身に付けさせます。

【取組状況の指標】

- ① 届出の徹底・担任、家庭への連絡を密にして、累積者を減少させ、継続的な指導を行います。

【達成状況の指標】

- ① 遅刻・早退の統計をとり昨年度の値の改善。

(1 学年)

- (1) 中学生や地域へ、より反応のある情報発信を行い、その機会を増やします。

【取組状況の指標】

- ① 従来の案内に加えて、ホームページを活用して随時必要な情報を提供していきます。

【達成状況の指標】

- ② アンケートによる活用状況の把握

2 ビジネスの高度化に対応できる人材育成のため進学指導を強化します。そのため教員の指導力を高め、四年制大学を希望するものをより増加させるとともに国公立大学や難関私大合格を常に可能とするようにします。また、専門性を生かした進学を促進するため、大学との連携を強化します。

(進路指導部)

(1) 推薦入試や一般入試に対応できる基礎学力と論述力の向上に努めます。

【取組状況の指標】

- ①進学指導に対する教員の指導力向上のために、教員向けの小論文対策講座を開きます。(年1回)
- ②進路講話、進学ガイダンス、オープンキャンパス等を通じて、四年制大学の学部・学科についての興味・関心を高める指導を行います。
- ③一般推薦入試での大学希望者を増加させます。そのために、小論文対策指導年2回、小論文模試年2回に加え、進路指導部による面接指導を行います。さらに外部講師による面接指導(年1回)実施します。
- ④「若き匠事業」について現在の提携校との取り組みを深化させ、さらに新たに別の大学との連携を検討します。各学年で、年1回キャリアガイダンスを実施し、進路意識を高め日々変化する入試方法について確実に調べます。

【達成状況の指標】

- ①講座受講後の職員に対するアンケート調査で、「小論文指導に対するスキルアップにつながった」とする回答70%以上
- ②年度末に進路希望調査を実施し、4月調査比20%増
- ③生徒に対するアンケート調査の結果、「小論文や面接試験に自信がついた」とする回答80%以上
- ④大学との連携事業における生徒ふり返しシートやアンケート調査の結果、「知識や技能が身についた」「進路選択に大いに役立った」とする回答80%以上

(教務部)

(1) 高度な資格を取得できる授業を実施し、資格を利用して進学できるように努めます。

【取組状況の指標】

- ①検定学習の更なる充実に努め、進学に繋がります。
- ②高校卒業後も継続して学んでいける学力が身につくようにします。

【達成状況の指標】

- ①全商検定各種目1級合格者数前年度比100%以上
- ②授業の満足度調査を実施。授業の集中度および満足度90%以上

(2) 生徒や保護者にとって、魅力的で安心できる学校づくりに取り組みます。授業時間の確保に努めるとともに、行事の時間を確保することで、生徒や保護者の満足度を高めます。

【取組状況の指標】

- ① 教務ガイダンスを学期ごとに実施します。(シラバスの説明、コースの説明、授業の取り組み)
- ② 授業の振替により、課題授業を極力少なくします。
- ③ 特編授業の有効的な組み方をします。

【達成状況の指標】

- ⑤ 課題授業の割合1%未満。
- ⑥ 授業時間 法定時数の90%以上。
- ③ 授業の満足度調査から生徒の授業の取り組み状況を把握します。

(1 学年)

- (1) 国公立大学及び難関私大合格を常に可能とするように教員の指導力を高めます。

【取組状況の指標】

- ①担任と教科担当または学年と教科間との連携を密にして学校として一貫した指導を心掛けます。

【達成状況の指標】

- ①成績不振科目なしでの全員進級。

- (2) 進学希望者のうち四年制大学を希望するものをより増加させます。

【取組状況の指標】

- ①朝の学習時間を確保し、キャリア情報誌を活用したキャリア指導を担当が実施します
②長期休業中のオープンキャンパスや進学説明会などへの参加を継続的に呼びかけます。
③進路指導部と連携して外部団体を活用したキャリア指導の実施。

【達成状況の指標】

- ①朝の学習を年25回実施
②個別面談を年2回実施
③外部団体を利用したキャリア指導を年3回実施

(2 学年)

- (1) 2年後の進路実現をめざして、基礎学力の充実を図ります。

【取組状況の指標】

- ①就職・進学いずれの進路でも基礎学力を身につけることが重要であり、朝のSHR時を利用して一般常識の小テストを実施します。また、普段からの授業の大切さや提出物の期日厳守を指導します。
②各教科との連携を密にし、成績不振者に対して個人面談や家庭訪問をする等、保護者との連絡も大切にしながら、継続的な補習実施を図ります。

【達成状況の指標】

- ①朝の学習を年20回実施
②成績不振科目なしでの全員進級。

- (2) 進学希望者のうち四年制大学希望者を増やすとともに、専門性を生かした進学を促進します。

【取組状況の指標】

- ①昨年度に引き続き、保護者会等で、商業の資格を活かしての国公立大学への推薦入試においても、学校の授業での成績と資格取得状況が重視されることを説明するとともに、夏期休業中に近隣の国公立大学のオープンキャンパスへの参加も呼びかけて、受験意識の高揚を図る。
②各教科の協力を得て、放課後や長期休業中の時間を利用して、進学課外を実施するとともに作文指導を利用して、学年生徒全体の作文力向上を図ります。また、生徒の状況に応じて、進路指導部主催の校外模試への積極的な受験を推進します。

【達成状況の指標】

- ①学年集会を5回と保護者会2回実施する。
②進学課外受講と校外模試受験者数 5名以上

(3 学年)

- (1) 生徒への説明や面談の時間を確保します。

【取組状況の指標】

- ①時期に応じて進学説明会を実施します。
②担任面談・保護者懇談会等による面談を計画的に行い、生徒個々の進路関係情報に関

係者が共有します。

- ③「学年通信」を発行や面談を通して進路意識の高揚を図ります。

【達成状況の指標】

- ①進学説明会を年1回以上実施する
- ②学年会を利用した進路関係情報交換会を学期に1回以上開催する。
- ③保護者、生徒との面談時間を確保し1回以上面談を行う。

- (2) 4年制大学進学に対応するための課外授業や校内模試の実施（進路指導部、各教科と連携）

【取組状況の指標】

- ①進学課外の受講生徒数と実施回数を確保します。
- ②大学の学校説明会・オープンキャンパスへの積極的な参加を促します。

【達成状況の指標】

- ①進路模試における生徒の成績を把握し状況に応じて1回以上の面談を実施する。
- ②大学進学希望者に占める進学課外受講状況（進学希望者の6割以上の参加）
- ③オープンキャンパス・学校説明会への参加状況（進学希望者の100%参加）

3 各種検定・資格試験への取組を強化し、商業教育の更なる充実を図ります。また商業系クラブの活性化を図るとともに、様々な活動で地域づくりに貢献できる取組を促進します。

(商業部)

(1) 各種検定・資格試験への取組を強化します。

【取組状況の指標】

- ① 簿記検定3級、情報処理検定3級、商業経済検定3級の100%合格を目指して商業科目の基礎基本の定着を図ります。
- ② 検定強化月間を設けて集中的に受験対策を行います。
- ③ 高度資格取得に向けて課外授業を充実させ校外模試への参加を呼び掛けるとともに基本情報免除対象科目履修講座の申請を行う。

【達成状況の指標】

- ① 種検定試験3級の合格率100%
- ② 全商検定3種目以上1級合格者100名
- ③ 日商簿記1級、ITパスポート、基本情報、応用技術などの合格者数合計10名

(2) 商業系クラブの活性化を図ります。

【取組状況の指標】

- ① 1年生商業系クラブへの入部を促進します。
- ② 各種競技大会上位入賞を目指すために練習試合、合宿などに積極的に参加し、選手の意識を高めるとともに大学、専門学校などと連携して継続的な指導体制を確立します。

【達成状況の指標】

- ① 1年生商業系クラブの加入率25%
- ② 商業系クラブ全クラブの東海大会、全国大会への出場。

(3) 地域づくりに貢献できる取組を促進します。

【取組状況の指標】

- ① インターンシップや課題研究等を通じて体験学習を充実させます。また、課題研究のいくつかの座を連携し、地元商店街の活性化に取り組むとともに、商品開発、マーケティング活動などを継続的に運営し地域活動に貢献します。

【達成状況の指標】

- ① 各取組に関するアンケートの結果、「満足度」80%以上

4 部活動などの教育環境の整備を進め高いレベルでの部活動による生徒の育成を図るため複数のクラブで常時全国有数の成績を出せるように努めます。

(運動部)

- (1) 平成21～23年度まで県総体女子の部において3年連続総合優勝を達成していましたが24年度は2位という結果だったため、今年度は総合優勝奪還を目指します。

【取組状況の指標】

- ①県高等学校総合体育大会の女子の部における総合優勝。
- ②運動部の指導者及び生徒の資質向上を図るため専門家を招き年2回の講習を行う（栄養、心理学、トレーニングなど）。

【達成状況の指標】

- ①全国総合体育大会出場は3部以上、県総体総合得点は63点以上。
- ②上記講習会への、各運動部員の参加80%以上。

(文化部)

- (1) コンクール、競技会のあるクラブは東海、全国大会出場クラブ数を増やす。

【取組状況の指標】

- ①指導力向上のための教員研修。生徒の外部講習会等への参加。

【達成状況の指標】

- ①東海、全国大会への出場数が昨年度より増加する

- (2) 地域と連携した取り組みを充実させる。

【取組状況の指標】

- ①地域と連携した取り組みの実施回数。

【達成状況の指標】

- ①実施後のアンケート結果（地域、生徒）の満足度の高い回答が75%以上

(1学年)

【取組状況の指標】

- ①学校の方針に則り部活動全員加入を促すが、途中で転退部する生徒もいます。全員加入制という部分を重んじ、退部したままの生徒がいないように随時加入を勧めていきます。

【達成状況の指標】

- ② 年度末クラブ加入率100%

5 職員にとって、より健康的で働きやすい職場環境づくりに努めます。

(1) 過重労働を減らす取り組みを進めるため定時退校や振休などを奨励します。

【取組状況の指標】

- ① 退勤時刻早期化の奨励し、定時退校日を設定します。
- ② リフレッシュ休暇など特休および振休の取得を奨励します。

【達成状況の指標】

- ① 事務室は定時退校日を水曜日とし達成率75%以上。教員は年4回定時退校日を設定し達成率90%以上。
- ② 必要な特休および振休の消化率100%。

(2) 教職員にとって職場環境改善の取り組みを進めます。

【取組状況の指標】

- ① 職場環境改善の実態調査を実施し課題を見つけ改善の方向を検討します。

【達成状況の指標】

- ① 年度末に改善についての職員満足度を昨年比での改善についての肯定回答を20%以上得る。